

歯学部・薬学部・保健医療学部(看護学科・理学療法学科・作業療法学科)

1. 学力試験

学校推薦型選抜入試

基礎学力試験において必要な学力を有するか、科目ごとではなく総合点で評価します。

一般選抜入試(Ⅰ期・Ⅱ期)

学力試験の基本となる学力を十分に有するか、科目ごとではなく総合点で評価します。

大学入学共通テスト利用入試(A方式)

「大学入学共通テスト」の結果をもとに、学力試験の基本となる学力を十分に有するか、科目ごとではなく総合点で評価します。

大学入学共通テスト利用入試(B方式:地域別選抜)

「大学入学共通テスト」の結果をもとに、学力試験の基本となる学力を十分に有するか判定し、各地域で定めた基準にて一次試験合格とします。科目ごとではなく総合点で評価・判定します。

2. 小論文試験

学校推薦型選抜入試

科学的思考力、良好な倫理観、課題に対する理解力及び自身の考えを明確な文章で表現する力などを評価し、点数化します。

大学入学共通テスト利用入試(B方式:地域別選抜)

一次試験合格者を対象に、科学的思考力、良好な倫理観、課題に対する理解力及び自身の考えを明確な文章で表現する力などを評価し、点数化します。

3. 面接試験

学校推薦型選抜入試、一般選抜入試(Ⅰ期・Ⅱ期)、大学入学共通テスト利用入試(A方式)

高い学習意欲、本学に対する明確な志望動機、社会に向き合う態度と倫理観、基本的なコミュニケーション能力、個性や才能等を評価し、点数化します。

大学入学共通テスト利用入試(B方式:地域別選抜)

一次試験合格者を対象に、高い学習意欲、本学に対する明確な志望動機、社会に向き合う態度と倫理観、基本的なコミュニケーション能力、個性や才能等を評価し、点数化します。

4. 合格判定基準

学校推薦型選抜入試

基礎学力試験が一定の基準を満たした受験者において、基礎学力試験、小論文試験、面接試験の点数を合計して順位化し、総合的に判定し合格者を決定します。高順位であっても小論文試験・面接試験の評価が低い場合は不合格とします。

一般選抜入試(Ⅰ期・Ⅱ期)、大学入学共通テスト利用入試(A方式)

学力試験が一定の基準を満たした受験者において、学力試験、面接試験の点数を合計して順位化し、総合的に判定し合格者を決定します。高順位であっても面接試験の評価が低い場合は不合格とします。

大学入学共通テスト利用入試(B方式:地域別選抜)

一次試験、小論文試験、面接試験の点数を合計して順位化し、総合的に判定し合格者を決定します。なお合格者を決定すると同時に補欠者も決定します。高順位であっても小論文試験・面接試験の評価が低い場合は不合格とします。

歯学部編入学試験(2年次編入)

大学の所定単位取得者および短期大学の卒業生(卒業見込含む)に、歯学以外での知識や技能を活かして歯科医療における専門能力をより高める機会を提供することを目的として、2年次への編入学を実施しています。

1.基礎学力試験

基礎学力試験において必要な学力を有するか判定します。科目ごとではなく総合点で評価します。

2.小論文試験

科学的思考力、良好な倫理観、課題に対する理解力及び自身の考えを明確な文章で表現する力などを評価し、点数化します。

3.面接試験

歯科医学に対する勉強意欲と本学に対する明確な志望動機、社会に向き合う態度と倫理観、基本的なコミュニケーション能力、個性や才能等を評価し、点数化します。

4.合否判定基準

基礎学力試験が一定の基準を満たした受験者において、基礎学力試験、小論文試験、面接試験の点数を合計して順位化し、総合的に判定し合格者を決定します。高順位であっても小論文試験・面接試験の評価が低い場合は不合格とします。

保健医療学部看護学科編入学試験(3年次編入)

看護系短期大学の卒業生(卒業見込みを含む)または看護専修学校の専門課程(3年課程)を修了した者(修了見込みを含む)に学士に必要な教養と保健師課程(学内選抜あり)を含む看護における専門能力を高める機会を提供することを目的として、3年次への編入学を実施します。

1.小論文試験

小論文試験により、文章表現力、構成力等を評価し、点数化します。

2.面接試験

面接試験により、看護学に対する高い学習意欲と本学に対する明確な志望動機のほか、協調性やコミュニケーション能力等を評価し、点数化します。

3.合否判定基準

小論文試験、面接試験の点数を合計して順位化し、総合的に判定し合格者を決定します。高順位であっても小論文試験・面接試験の評価が低い場合は不合格とします。